

# 平成28年度 第4回

## 受注登録企業動向調査結果報告書

### <概況>

全体的には、受注量は前回調査に続いて3期連続で増加傾向、堅調に推移。  
今後の受注見通しについては、僅かながら減少と慎重な見通し。

### <項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全体的に前期より増加。輸送用機器、一般機器、精密機器で顕著に増加。
- (2)受注見通し : 全体的にやや減少（慎重な見通し）。金属製品、鉄鋼・非鉄が大きく減少。
- (3)受注単価 : 下降が僅かに増えているがほとんど変化がない。今後、材料費の高騰を懸念。一般機器、輸送用機器では、上昇が増加。
- (4)資金繰り : 近年では最も好転が増えている。金属製品、鉄鋼・非鉄の2業種で悪化。
- (5)採算状況 : 全体的には改善傾向。鉄鋼・非鉄のみ「黒字」が「赤字」を下回る。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」が増加。  
鉄鋼・非鉄、電気機器の2業種は、「受注余力なし」が増加。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成29年1月～3月  
(平成29年3月末集計)

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん  
の円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	35社	② 金属製品関係	45社
③ 一般機器関係	45社	④ 電気機器関係	45社
⑤ 輸送用機器関係	35社	⑥ 精密機器関係	40社
⑦ 樹脂製品関係	40社		

### (3) 調査時点

平成29年3月末日現在

### (4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

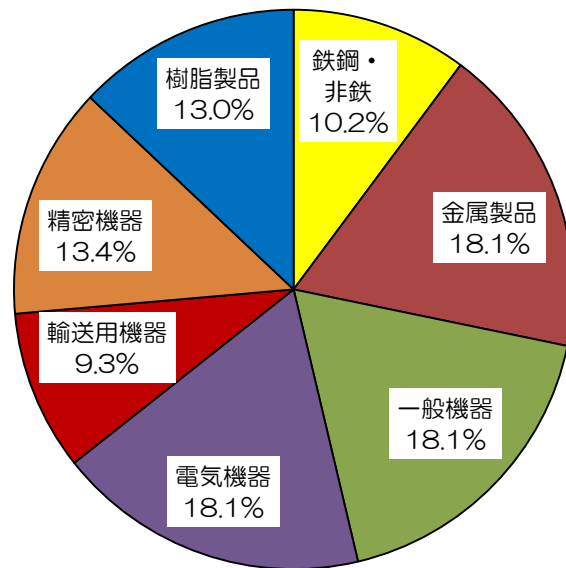
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

### (5) 回答状況

① 調査対象企業数	285社		
② 回答企業	216社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	22社	( 10.2% )	
金属製品関係	39社	( 18.1% )	
一般機器関係	39社	( 18.1% )	
電気機器関係	39社	( 18.1% )	
輸送用機器関係	20社	( 9.3% )	
精密機器関係	29社	( 13.4% )	
樹脂製品関係	28社	( 13.0% )	
④ 回答率	75.8%		

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	6 2.8%	1 4.5%			2 5.1%			3 10.7%
~300万円	14 6.5%		4 10.3%		1 2.6%	2 10.0%	3 10.3%	4 14.3%
301~999万円	10 4.6%	1 4.5%	1 2.6%			3 15.0%	2 6.9%	3 10.7%
1000~2000万円	119 55.1%	12 54.5%	27 69.2%	23 59.0%	24 61.5%	6 30.0%	15 51.7%	12 42.9%
2001~5000万円	50 23.1%	6 27.3%	7 17.9%	14 35.9%	9 23.1%	3 15.0%	6 20.7%	5 17.9%
5000万円超	17 7.9%	2 9.1%		2 5.1%	3 7.7%	6 30.0%	3 10.3%	1 3.6%
合 計	216 100%	22 100%	39 100%	39 100%	39 100%	20 100%	29 100%	28 100%

### (3) 業種別・従業員別回答企業数

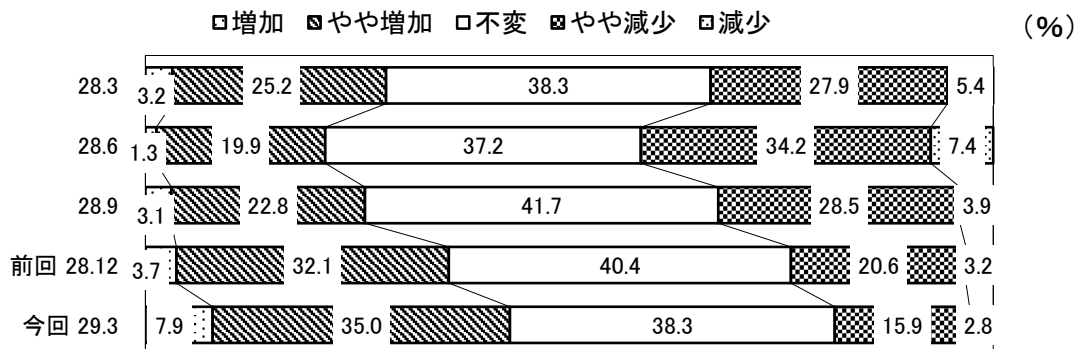
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 9.3%	7 31.8%		2 5.1%	2 5.1%	4 20.0%		5 17.9%
6~10人	20 9.3%	1 4.5%	2 5.1%	1 2.6%	4 10.3%	3 15.0%	5 17.2%	4 14.3%
11~20人	67 31.0%	5 22.7%	17 43.6%	15 38.5%	8 20.5%	3 15.0%	10 34.5%	9 32.1%
21~30人	29 13.4%	3 13.6%	10 25.6%	7 17.9%	3 7.7%		3 10.3%	3 10.7%
31~50人	33 15.3%	4 18.2%	5 12.8%	7 17.9%	8 20.5%	3 15.0%	4 13.8%	2 7.1%
51人以上	47 21.8%	2 9.1%	5 12.8%	7 17.9%	14 35.9%	7 35.0%	7 24.1%	5 17.9%
合 計	216 100%	22 100%	39 100%	39 100%	39 100%	20 100%	29 100%	28 100%

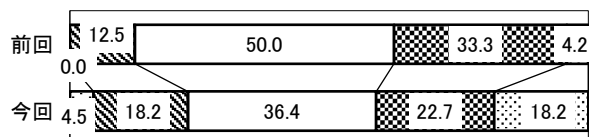
### 3. 調査結果

#### (1) 受注量について

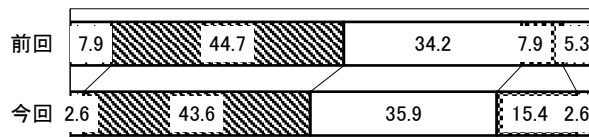
##### ①全体



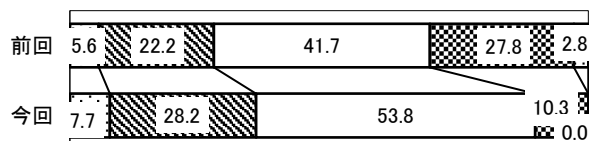
##### ②鉄鋼・非鉄



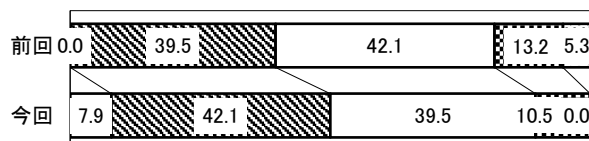
##### ③金属製品



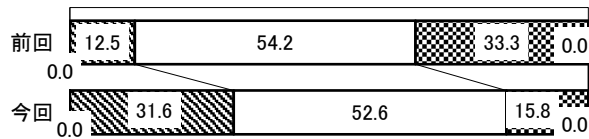
##### ④一般機器



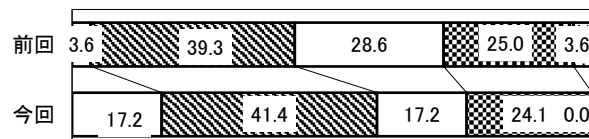
##### ⑤電気機器



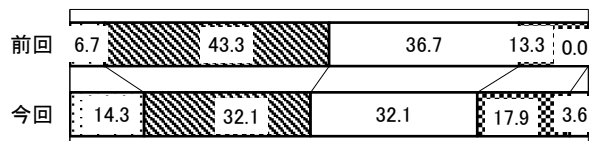
##### ⑥輸送用機器



##### ⑦精密機器



##### ⑧樹脂製品



##### ○全体

・1月～3月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は24.6となり、前期（10月～12月期）のD I値12.0と比べ12.6ポイント上昇、3期連続となり受注量は増加傾向である。

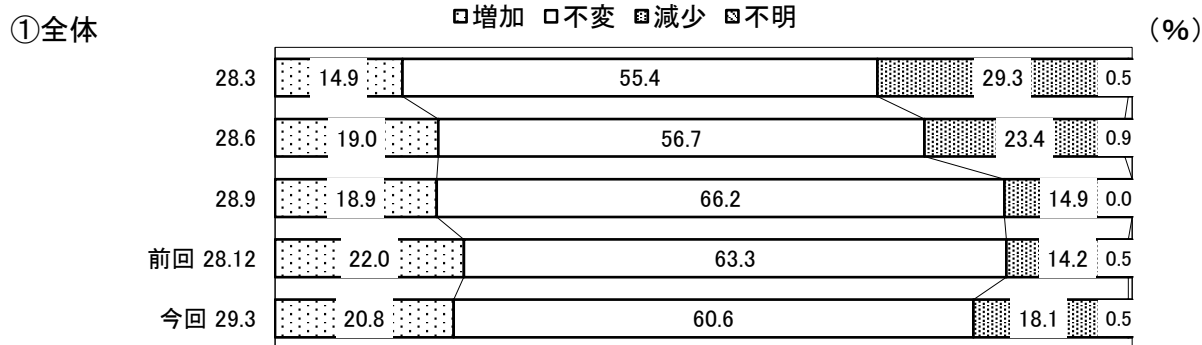
##### ○業種別

・業種7分類中、D I値は、電気機器（39.5）、樹脂製品（34.6）、精密機器（34.5）金属製品（28.2）で前回と同様プラス。今回は、一般機器（25.6）、輸送用機器（15.6）でもプラスとなっている。

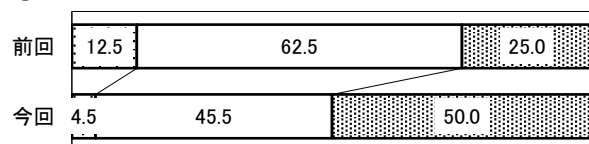
・D I値を前期と比較すると、マイナス値となった鉄鋼・非鉄、でも前回より数値は上がっており、金属製品、樹脂製品の2業種が下降、5業種で上昇の結果となった。

・特に、輸送用機器で▲20.8から15.8と36.6ポイントの上昇、一般機器で前期▲2.8から25.6と28.4ポイント上昇、精密機器で14.3から34.5と20.2ポイント上昇、と大きな変化が見られる。

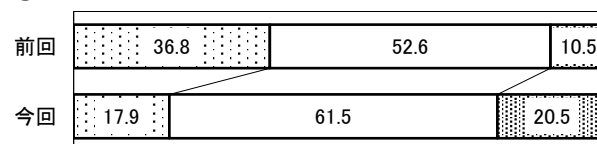
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



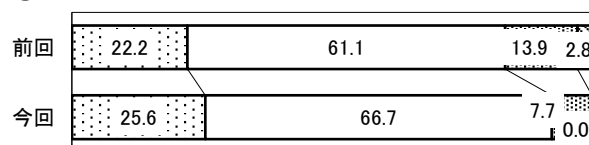
②鉄鋼・非鉄



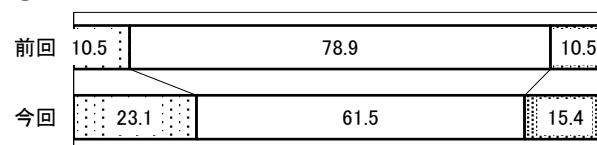
③金属製品



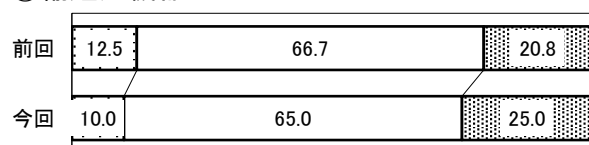
④一般機器



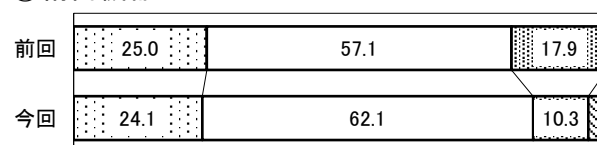
⑤電気機器



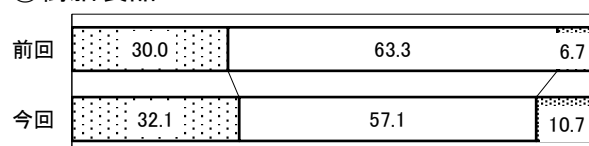
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期 (7月~9月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は2.7となり、前期調査時のD I 値7.8と比べ5.1ポイント下降し、受注量の見通しは僅かながら減少とする回答の割合が増えている。

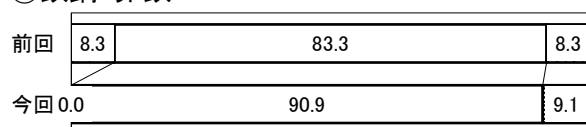
○業種別

- ・業種7分類中D I 値がプラスであったのは、樹脂製品 (21.4)、一般機器 (17.9)、精密機器 (13.8)、電気機器 (7.7) の4業種で、金属製品 (▲2.6)、輸送用機器 (▲15.0) 鉄鋼・非鉄 (▲45.5) の3業種はマイナスであった。
- ・D I 値を前期と比較すると、一般機器で8.3から17.9 (9.6)、電気機器で0から7.7 (7.7)、精密機器で7.1から13.8 (6.7) と3業種で上昇。
- ・一方、樹脂製品23.3から21.4 (▲1.9)、輸送用機器で▲8.3から▲15.0 (▲6.7)、金属製品で26.3から▲2.6 (▲28.9)、鉄鋼・非鉄で▲12.5から▲45.5 (▲33.0) の4業種で低下している。
- ・特に、金属製品 (▲28.9) 鉄鋼・非鉄 (▲33.0) の2業種の低下幅が大きい。

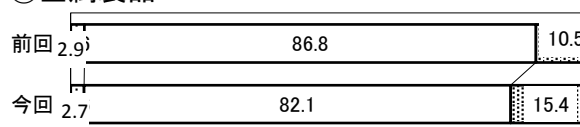
### (3) 受注単価について



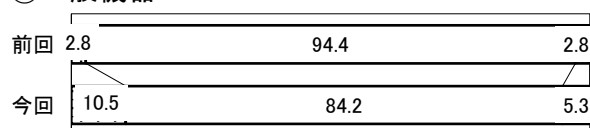
#### ②鉄鋼・非鉄



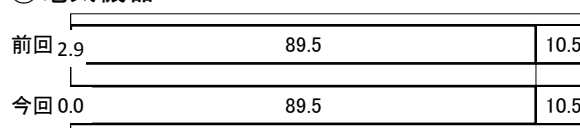
#### ③金属製品



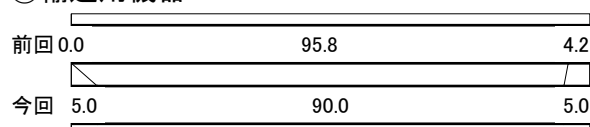
#### ④一般機器



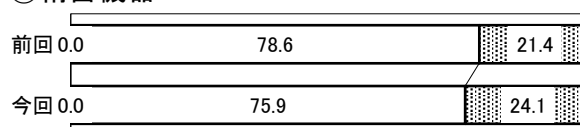
#### ⑤電気機器



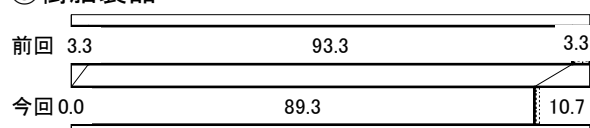
#### ⑥輸送用機器



#### ⑦精密機器



#### ⑧樹脂製品



#### ○全体

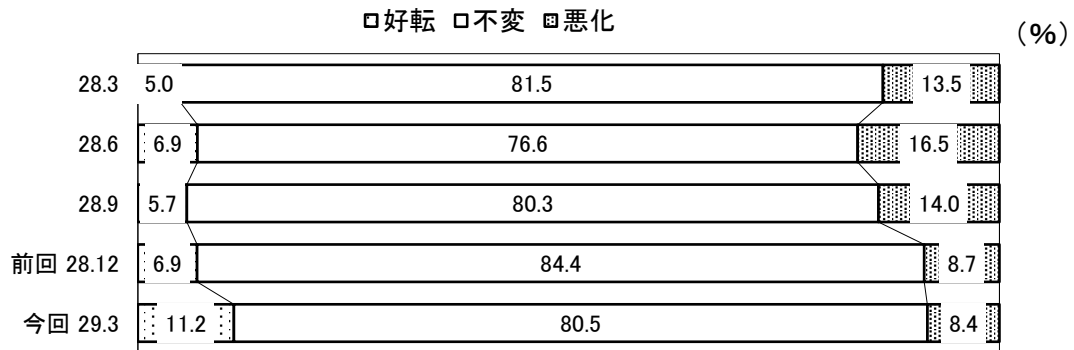
- ・1月～3月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲8.9となり、前期（10月～12月期）のD I値▲6.4と比べて2.5ポイント減少と若干の悪化が見られた。

#### ○業種別

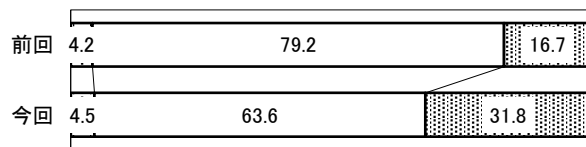
- ・7業種中、D I値がプラスの業種は一般機器（5.2）の1業種のみで、輸送用機器（±0）の他、鉄鋼・非鉄（▲9.1）、電気機器（▲10.5）、樹脂製品（▲10.7）、金属製品（▲12.8）、精密機器（▲24.1）の5業種でマイナスであった。
- ・D I値を前期と比較すると、一般機器（5.2）、輸送用機器（4.2）の2業種で前期比プラス、電気機器（±0）、精密機器（▲2.7）、金属製品（▲4.9）、鉄鋼・非鉄（▲9.1）、樹脂製品（▲10.7）の4業種で前期比マイナスとなった。
- ・一般機器、輸送用機器では、「上昇」の回答が増加した。

(4) 資金繰りについて

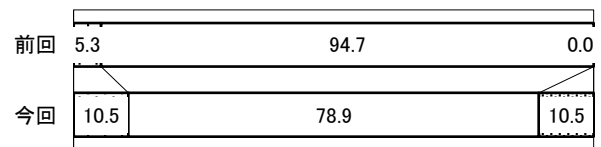
①全体



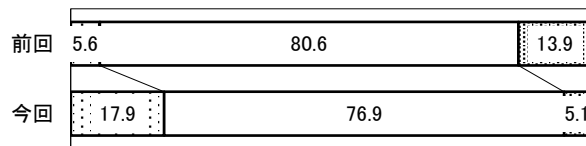
②鉄鋼・非鉄



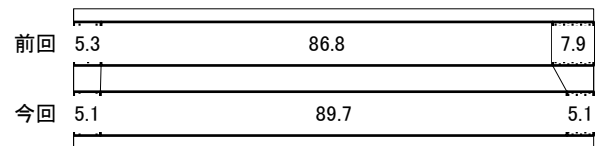
③金属製品



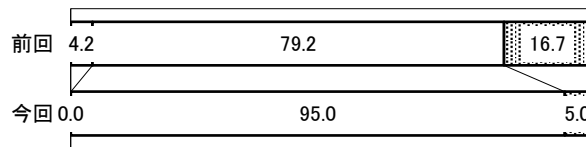
④一般機器



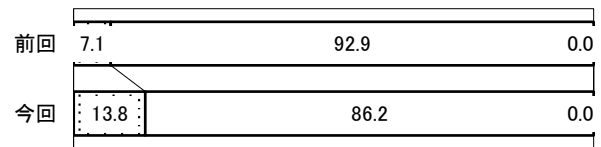
⑤電気機器



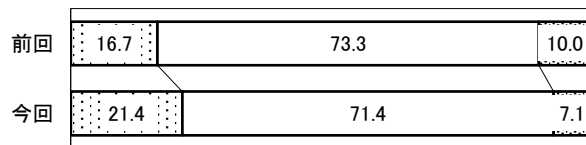
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

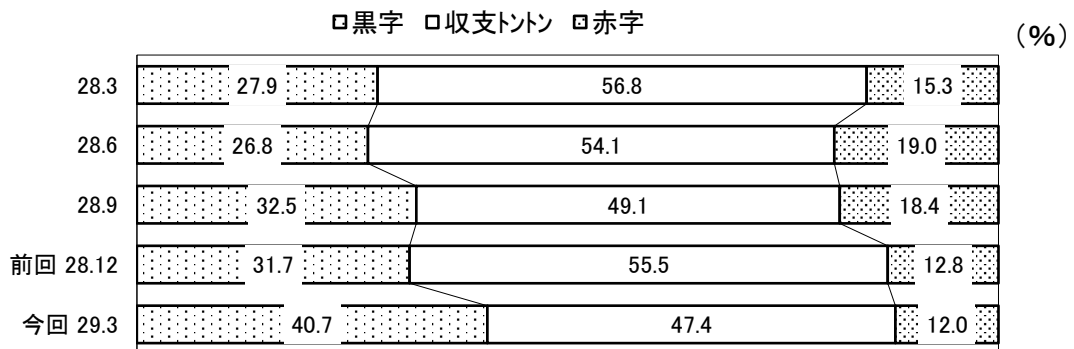
- ・1月～3月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は2.8となり、前期（10月～12月期）のD I ▲1.8と比べて4.6ポイント上昇した。

○業種別

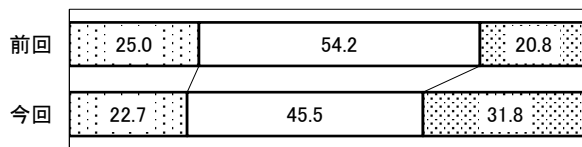
- ・業種7分類中D I値がプラスであったのは、樹脂製品（14.3）、精密機器（13.8）、一般機器（12.8）の3業種。金属製品（±0）、電気機器（±0）の2業種が±0。輸送用機器（▲5.0）、鉄鋼・非鉄（▲27.3）の2業種でマイナスとなっている。
- ・D I値を前期と比較すると、一般機器（21.1）、樹脂製品（7.6）、輸送用機器（7.5）、精密機器（6.7）、電気機器（2.6）の5業種で上昇しており、金属製品（▲5.3）、鉄鋼・非鉄（▲14.8）の2業種が低下している。

(5) 採算状況について

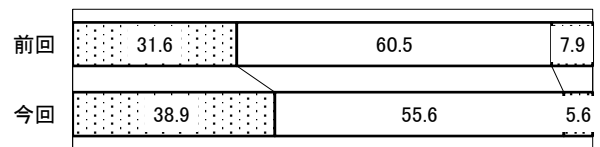
①全体



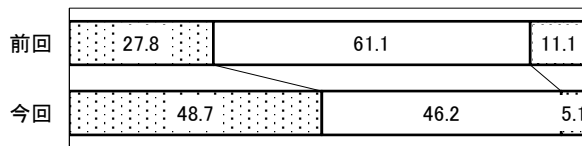
②鉄鋼・非鉄



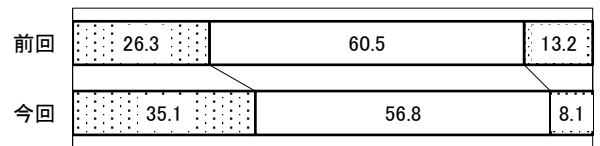
③金属製品



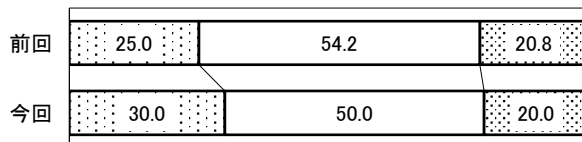
④一般機器



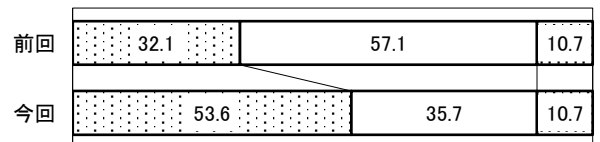
⑤電気機器



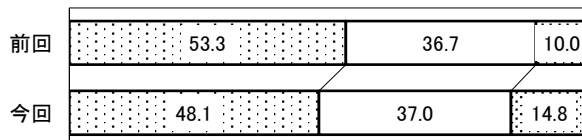
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

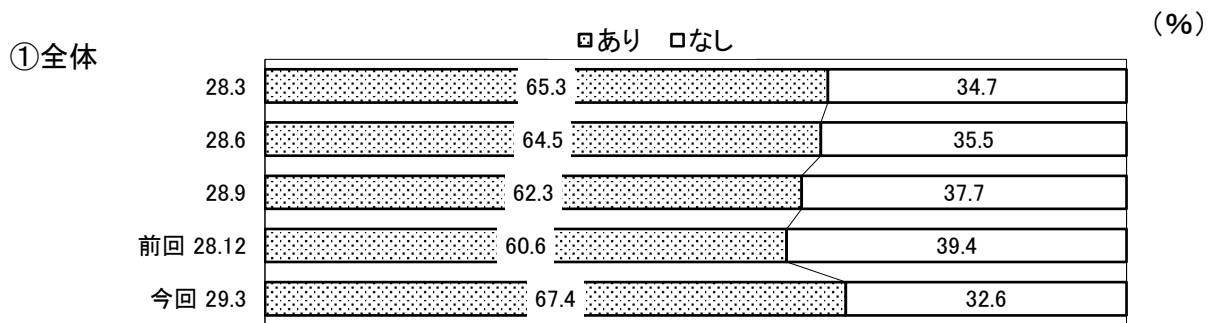
・1月～3月期の採算状況の業況判断DⅠ（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は28.7となり、前期（10月～12月期）のDⅠ値18.9と比べ9.8ポイント上昇した。

○業種別

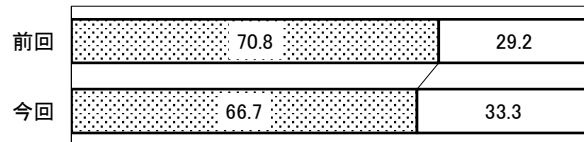
- ・鉄鋼・非鉄（▲9.1）のみマイナスで、6業種でDⅠ値はプラスとなっており、一般機器（43.6）、精密機器（42.9）、金属製品（33.3）、樹脂製品（33.3）、電気機器（27.0）、輸送用機器（10.0）とプラス幅（黒字企業）も増加した。
- ・DⅠ値を前期と比較すると、一般機器（26.9）、精密機器（21.5）、電気機器（13.9）、金属製品（9.6）、輸送用機器（5.8）と大きな改善が見られたが、樹脂製品（▲10.0）、鉄鋼・非鉄（▲13.3）となった。
- ・鉄鋼・非鉄、輸送用機器の2業種では、依然として2割を超す企業が「赤字」としている。
- ・一般機器、精密機器の2業種では、黒字がさらに増え、半数を超す企業が「黒字」との回答であった。



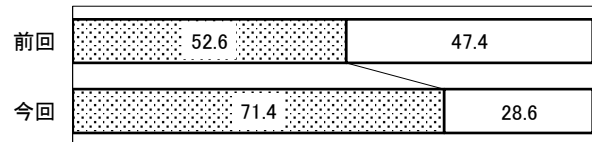
(6) 受注余力について



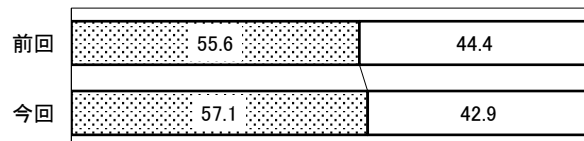
②鉄鋼・非鉄



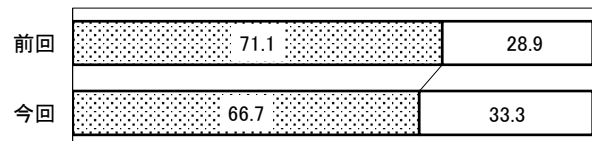
③金属製品



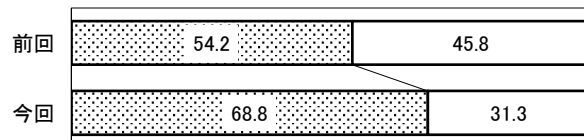
④一般機器



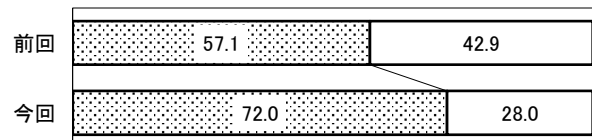
⑤電気機器



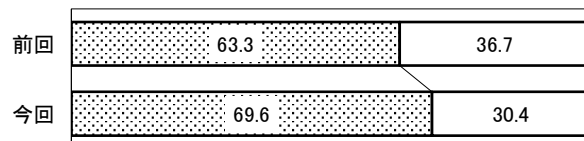
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・1月～3月期の採算状況の業況判断DI（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は34.8となり、前期（10月～12月期）のDI値21.2と比べ13.6ポイント上昇した。（「受注余力あり」企業が増加した）
- ・1月～3月期は「受注余力あり」とする企業が67.4%と、前期と比較して6.8ポイントの増加となった。

○業種別

- ・全7業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。（DI値がプラス）
- ・精密機器（44.0）、金属製品（42.8）、樹脂製品（39.2）、輸送用機器（37.5）、鉄鋼・非鉄（33.4）、電気機器（33.4）、一般機器（14.2）と「受注余力あり」が増加した。
- ・DI値を前期と比較すると、金属製品（37.6ポイント）、精密機器（29.8）、輸送用機器（29.1）、樹脂製品（12.6）、一般機器（3.0）の5業種は、前回比プラスとなり、「受注余力あり」が増加している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp